2024年9月16日（月）

週刊包装タイムス掲載

地球のもとへ
地球とともに
地球にやさしい　飲料フィルター
OHKi
大紀商事株式会社

発行所
CHALLENGE 70
日報ビジネス株式会社
Vision Vitality Victory
〈東京〉〒101-0061　東京都千代田区神田三崎町3-1-5
電話03（3262）3463　FAX03（5276）4431
〈大阪〉〒541-0054　大阪市中央区南本町1-5-11
電話06（6262）2402　FAX06（6265）7127

9月16日　No.3140
2024年（令和6年）
週刊　月曜発行
発行人　河村 勝志
昭和41年9月22日　第3種郵便物承認
購読料（定価）　年間 23,900円＋税
1部本体 509円＋税

包装タ
THE HOSO

クローズアップ
話題

アップサイクル啓発イベント

日本シーム

体験通して包材の行き着く先を知る

粉砕機に興味深々の子どもたち

プラスチック化工関連機器の開発設計・製造・販売を手掛ける日本シーム（埼玉県川口市、☎048・298・7700）が7月27日、夏休み中の親子連れを対象に「オープンファクトリー　親子で楽しむ！　アップサイクル体験」を開催した。マテリアルリサイクルの重要性を啓発するイベントで、PETボトルキャップを押し出し成型機で加工するアップサイクルを体験できる。環境問題への関心が高まる中、包装資材の行き着く先を遊びながら学べる機会となった。

同イベントではプラリサイクルや環境問題を学ぶ短い座学、工場見学、そしてPETボトルキャップを原料に使った〝コマ〟作りが体験できた。イベントを通してマテリアルリサイクルやアップサイクルへの実感を持ってもらうこと、また普通に生活していては認知し辛い業態への知見を持ってもらうことなどを目的に開催された。

工場見学では見学用のコースが作成され、同社が製造販売する粉砕機や洗浄脱水機などの製造工程や実機を確認できた。幼稚園児から中学生まで幅広い年齢の子どもが、プラの再資源化に資する製品の数々を興味深く見学した。特に粉砕機の実演は強く子どもも関心を引き、熱心に観察されていた。

押し出し成型を体験

完成したコマを楽しむ様子

押し出し成型の体験ではコマの成型が楽しめた。子どもたちがハンドルを操作し熱したペレットを型に流し込む。原料には色とりどりの飲料キャップが混ざっているため、成型されたコマの模様も唯一無二のマーブル模様だ。埼玉県・草加から参加した関悠陽（はるひ）君（8）は笑顔でコマを受け取りながら、「きれいな色で良い」と喜びを見せた。

アップサイクルの認知はまだ低い。埼玉県・桶川から来た中野澪人（みおと）君（4）も、家庭で段ボールをリサイクルしているがアップサイクルは知らないとの旨を語った。

だが、リサイクルという習慣を作るには、幼いうちから慣れ親しんでもらうことが重要だ。同社の押し出し成型機も体験イベントのために用意したもので、イベントを通し幼いうちから体験して実感を持ってもらうことで啓発につなげていく狙いがある。

参加家族は親子向けのイベント情報サイト「いこーよ」や「Peatix」などを経由し開催を知り、「環境問題を学ばせたい」「夏休みの自由研究として」という理由から参加していた。16家族47人が同社の本社兼工場に集まり、大きな賑わいを見せていた。

子ども向けのイベントは今年2回目。春夏冬と長期休みに合わせて行っており、今冬にも開催を予定している。また9月21日には高校生以上を対象とした「日本シームのオープンファクトリー　大人の社会科見学」も行う予定で、未来を担う子どもたちを含め、広く社会に向けた啓発活動に努めていく。

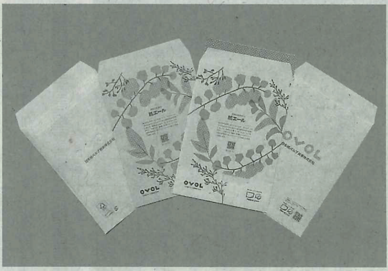
日本包装技術協会

経産大臣賞に紙製透明包装

'24日本パッケージングコンテスト

日本包装技術協会（大塚一男会長）は8月28日、ホテル東京ガーデンパレス（東京都文京区）で、2024日本パッケージングコンテストの贈賞式を開催した。392件の応募作品からジャパンス [illegible] 賞33件、包装部門83件の129件が受賞。グランプリに当たる経済産業大臣賞には「紙エール　デザインウインドウ」（日本紙パルプ商事・イムラの共同出品）が選ばれた。

小野拡邦審査委員長 [illegible] は、今回の傾向について「環境関連の改善事例が大多数を占め、バイオマス材料への転換、リデュース・リサイクルに機能性やデザイン性を付与した事例、効率向上に知恵を絞った作品が多数見ら [illegible] 応募作品に紙材料が使用されたPOP・店頭 [illegible]



経産大臣賞の「紙エール　デザインウインドウ」

体的に紙包装への転換が顕著だった。小野委員長は「規制の厳しい医薬品・医療分野でも、再生プラスチックの利用や紙化などの挑戦が行われている」とし、[illegible] 展には、協業によるシステムの確立が欠かせない」と述べた。

また「昨今の異常気象や世界情勢を踏まえると、予期せぬ難題が出現する可能性が否めない。包装技術の開発成果を日本パッケージングコンテストで切磋琢磨し、日本の包装技術が一段と向上することを願っている」と結んだ。

経済産業大臣賞を受 [illegible] ザインウインドウ」は、紙自体を透明加工し、プラスチックフィルムを貼り合わせることなく、紙単体で透明化を実現した窓付き紙袋。透明箇所の位置や形状、大きさなどは任意に指定でき、袋以外の展開も可能。

今回の受賞作品は、10月23日から開かれるTOKYO PACK 2024で「2024グッドパッケージング

かねひろ

プライベート展開催へ

秋田テルサで10月9・10日

かねひろ（秋田市、☎018・862・6

10日の
御所野

機械メーカーとして